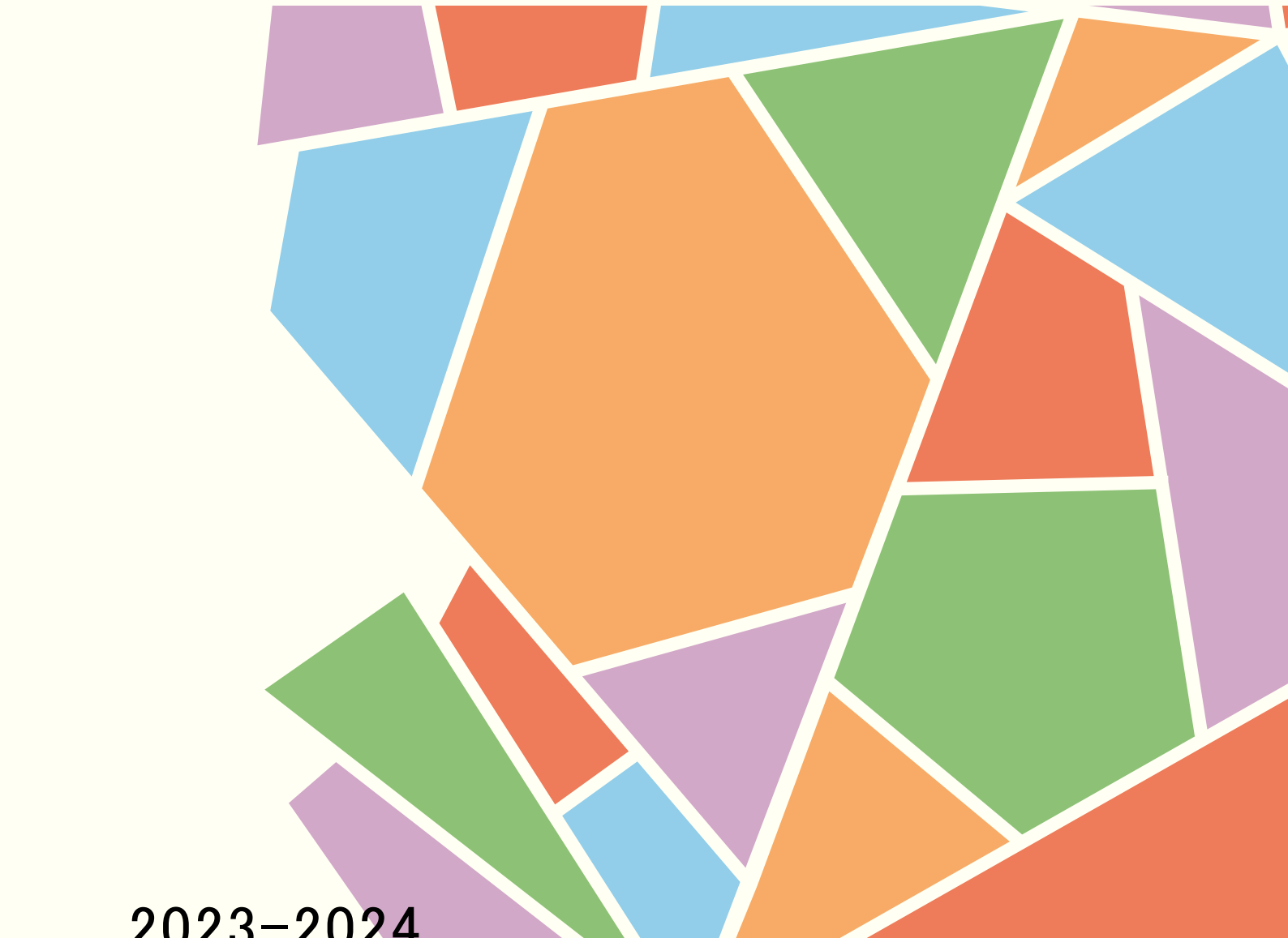




2023-2024

多治見市モザイクタイルミュージアム
年報 第5号

MOSAIC TILE
MUSEUM
Tajimi



モザイクタイルミュージアム
MOSAIC TILE MUSEUM Tajimi



モザイクタイルミュージアム

MOSAIC TILE MUSEUM Tajimi

総括・挨拶

多治見市モザイクタイルミュージアムは、多治見市が設置したタイルを専門とする博物館類似施設であり、2016年の開館以来、タイル関係の企業が設立した一般財団法人たじみ・笠原タイル館が、指定管理者として管理・運営を担ってきました。指定管理2期目も最後の年を迎え、その役割も少しずつ変わりつつあることを感じています。

2020年に始まった新型コロナウイルスのパンデミックも落ち着き、2023年5月8日からは、新型コロナウイルスの感染法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられ、入場制限もなくなり、体験工房の予約制も2024年10月からは完全に撤廃することができました。館全体の運営も次第にコロナ前の状態に戻りました。

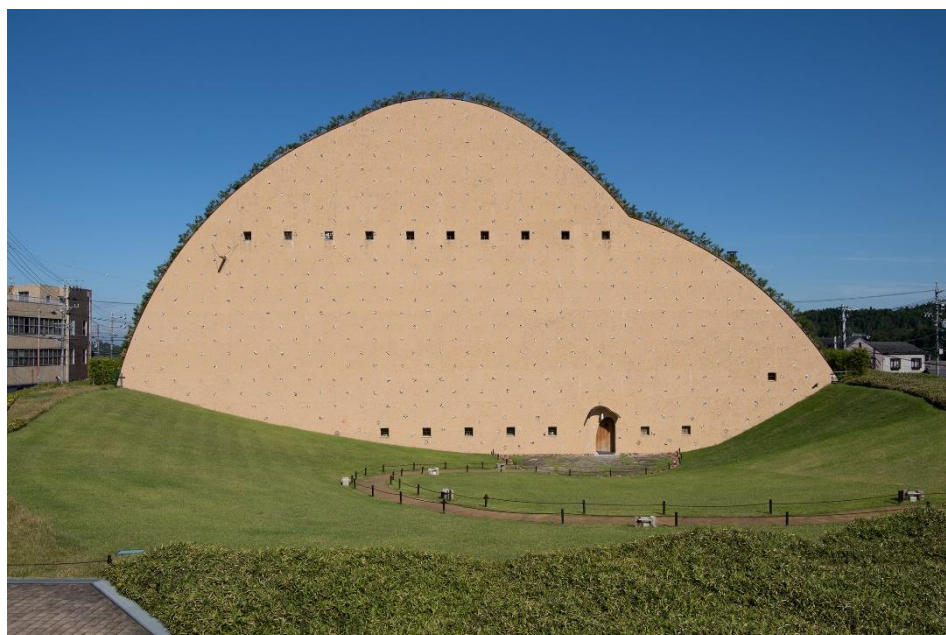
また、特に2024年は、3年に1度の国際陶磁器フェスティバルの開催の年に当たり、フェスティバルの名誉総裁である秋篠宮家の佳子さまがご来館され、再び大きく注目を浴びることとなりました。

来年度には、開館10周年を迎えることとなり、この先の10年間も見据えた運営が必要となってきます。新たな局面を迎える当ミュージアムが今後とも多くの方々に愛され、タイル産業の振興及び地域の発展に寄与していくことを目指して運営することを誓い、本誌を刊行いたします。

2025年10月

多治見市モザイクタイルミュージアム

指定管理者 一般財団法人 たじみ・笠原タイル館



目次

総括・挨拶	1
目次	2
多治見市モザイクタイルミュージアムとは	3
館内図	3
館内構成	4
特別展示 2023（令和5）年度 [2023年4月～2024年3月]	5
特別展示 2024（令和6）年度 [2024年4月～2025年3月]	9
（一財）たじみ・笠原タイル館 プロジェクト会議主催事業	12
産業振興事業	13
他施設協力・連携事業	15
収蔵資料	17
貸出業務	18
収集品選定評価委員会要綱	19
収集品選定評価委員会	19
施設利用状況	20
刊行物、印刷物	22
主な広報活動	24
資料：組織	31
資料：建築概要	31
資料：条例・施行規則	32
利用案内／アクセス	38

多治見市モザイクタイルミュージアムとは

モザイクタイルミュージアムは、2016（平成28）年6月、岐阜県の東南部に位置する多治見市笠原町に開館したモザイクタイルの博物館です。同地は施釉磁器モザイクタイル発祥の地であり、現在では国内のシェア8割以上を誇るモザイクタイルの生産地です。地元の有志の方々が20年以上にわたり自ら資料の収集に奔走し、博物館の設立に向けて尽力してきました。その活動に共感した建築家・藤森照信氏によるユニークな外観の建築は、タイルのファンのみならず全国から多くの来場者を集めています。



モザイクタイルミュージアムのミッション

1 モザイクタイルの魅力を伝える

小片を寄せ合わせ絵（図像）や模様を表すことによって、不思議な美しさ、懐かしさを作り出すモザイクタイルの魅力を伝えます。

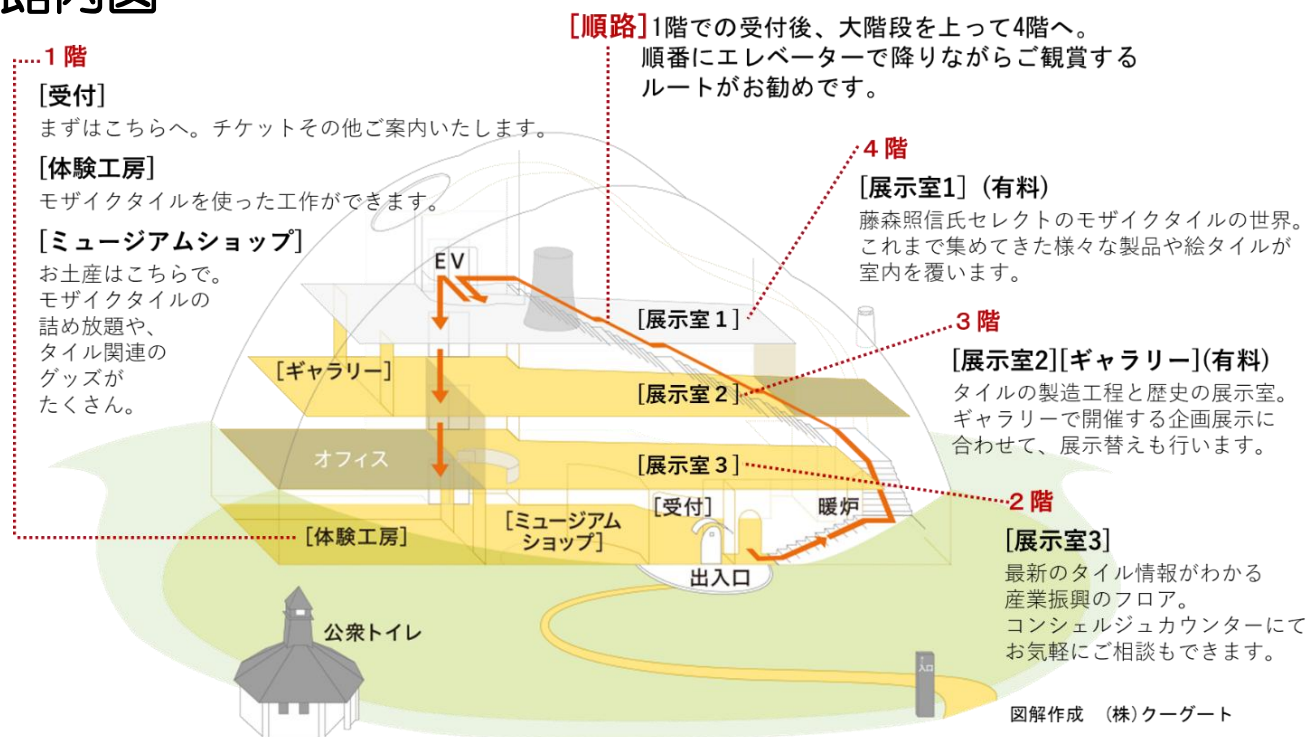
2 「発見」⇨「交流」⇨「発信」する

モザイクタイルの小片を集めるように、あるいは暮らしの中にタイルを見つけるように、様々な出来事に目を向け、つなげ、豊かな未来絵図を描いていきます。

3 地域を元気にする

この豊かなタイルの文化・伝統を地域の誇りとして、国内外に発信し、地域を盛り上げていきます。

館内図



館内構成

モザイクタイルミュージアム 1 階にはミュージアムショップと体験工房、2 階から 4 階までに 3 つの展示室があり、各階でタイルの異なる表情を感じることができます。

4 階

藤森照信氏がディレクションした、非日常的なタイルの空間。床から天井まで白いタイルに覆われた空間に、地元を中心とする各地から収集されてきたモザイクタイル画の壁面、銭湯の絵タイル、洗面台や浴槽などが設置されています。

3 階

モザイクタイルの製造工程や歴史がたどれるコレクションを展示する常設展示コーナーと、年 3 回程度の特別展示を開催するギャラリーがあり、常設展示も特別展示のテーマに合わせ、定期的に展示替えを行っています。

- 1) モザイクタイルの製造工程
- 2) 笠原モザイクタイルの歴史
- 3) テーマ展示
- 4) 特別展示 (5～11 ページ)

2 階

一般財団法人たじみ・笠原タイル館が多治見市から賃借し、直接、運営・管理する産業振興エリアです。多治見市内で生産される製品やその場で販売できる製品を展示し、協賛企業各社のカタログも閲覧できるようになっています。

また、日常の中でのタイルの使い方や新たなタイルの可能性を実例として、ブースごとに提案しています。

1 階

体験工房では、常時来館者が体験できる工作のプログラムを運営しています。

- ・通常プログラム
ワンコイン工作（複数種類の小物から選び、モザイクタイルを接着剤で貼り付けて飾る工作）
- ・特別工作
夏休み期間などに、特別な工作メニューを提供しています。

特別展示

2023(令和5)年度 [2023年4月～2024年3月]

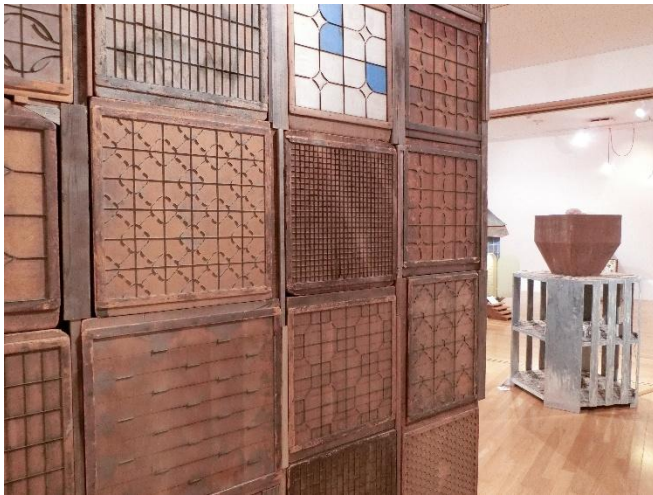
●展覧会名 「タイルのまちをあるいてみた studio record」

【会期】2023年2月1日（前年度）～5月7日

【来館者数】20,906人

【内容】第12回国際陶磁器展美濃においてタイルの作品で銀賞を受賞した「スタジオレコード」による企画展。代表者の宮部友宏氏が、東濃地域のタイル生産現場を改めて歩いて感じたことや考えたことを作品と展示によって表現しました。産業の関係者や研究施設とも協働し、タイルの新しい可能性を示す意欲的な展示としました。

「タイルのまちをあるいてみた」展示風景



コレクション展展示風景



【関連企画】

①アースポット・ワークショップ

日時／2023年4月30日（日）13時～17時

場所／岐阜県セラミックス研究所

参加者数／12名

講師／加藤真美

参加費／1,000円

②循環する大地 再生原料を使ったワークショップ

日時／2023年5月3日（水・祝）13時～16時

場所／岐阜県セラミックス研究所

参加者数／15名

講師／宮部友宏（陶芸家、造形作家、スタジオレコードディレクター）

小稲彩人（岐阜県セラミックス研究所主任専門研究員）

参加費／800円

【記録集】

タイトル/企画展「タイルのまちをあるいてみた studio record」

仕様/A5判、20ページ、カラー

【評価と成果】

「タイルのまちをあるいてみた studio record」では、これまでタイル産業において廃棄されてきた廃棄物や不純物を様々な方法で活用し、新たな視点でタイル作品を制作・発表しました。

特に、表面にチョークで描くことができるマット釉を施した、「黒板タイル」を用いた小屋型の作品

「黒板タイルハウス」は、来場者の注目を集めました。来場者は黒板タイルにチョークで自由に落書きできる体験を通じて、タイルをより身近に感じることができました。本作では遊び心をひとつの機能として捉え、タイルに対する新たな価値観を提案できました。

会期中には複数のワークショップを行い、土やタイルに実際に触れながら作品づくりを行いました。これにより、参加者がタイルや焼き物文化への理解を深め、親しみを持つきっかけとなりました。

●展覧会名 「「アート」を組む人々 ミスズアートとモザイクタイル画の仕事」

【会期】2023年5月20日～8月27日

【来場者数】23,685人

【内容】2020年に急逝した曾根研氏と、その祖父の代から続いていた「ミスズアート・スタジオ」に注目し、モザイクタイルの絵画表現を担った職人たちを紹介する企画展。

本展では、3代にわたるミスズアート・スタジオの作品を軸として、まち中を彩ってきたモザイクタイル・アートをご紹介しますことで、その可能性を感じていただきました。

企画展「「アート」を組む人々」展示風景



コレクション展展示風景



【関連企画】

①アートなミニ額でモザイク体験

日時・参加者数/8月26日(土)

1回目: 午前10時～12時

参加者: 計10名

2回目: 午後1時30分～3時30分

参加者: 計10名

8月27日(日)

1回目: 午前10時～12時

参加者: 計10名

2回目: 午後1時30分～3時30分

参加者: 計10名

講師/櫻井拓也

参加費/1,000円

【記録集】

タイトル／企画展「アート」を組む人々 ～ミスズアートとモザイクタイル画の仕事～
仕様／A5 判、16 ページ、カラー

【評価と成果】

「アート」を組む人々ではモザイクタイルの絵画表現を担った職人たちを紹介、モザイクタイルの普及には笠原における施釉磁器モザイクタイル開発と、量産体制の確立が大きく影響し身近な公共建築などに使われるようになりました。

●展覧会名 「工場賛歌 焼成編」

【会期】2023 年 9 月 9 日～2024 年 1 月 21 日

【来場者数】27,259 名

【内容】開館以来 3 回にわたって「工場賛歌」のタイトルを冠して開催してきた企画を引き続き、タイルの焼成というプロセスに注目する展覧会。

焼成は、タイルの色や素材感といった「顔」となる部分を決定づけるプロセス。その工程では何が起きているのか、どんな道具や技術を必要とするのかを、多治見工業高等学校専攻科や地元の産業に関わる各社の協力を得て展示によって表現しました。

これまで深く掘り下げられることがなかったタイル産業の重要な一面に触れられる機会として展示しました。

企画展「工場賛歌 焼成編」展示風景



コレクション展展示風景



【関連企画】

①タイルピースで作品を作ろう

日時／2024 年 1 月 13 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分

場所／モザイクタイルミュージアム 2 階

参加者／2 名

参加費／2,000 円

【記録集】

2024 年度の制作

【評価と成果】

「工場賛歌 焼成編」では、焼成はタイルの色や素材感といった「顔」となる部分を決定づけるプロセスで、その工程で何が起きているのか、岐阜県立多治見工業高等学校の専攻科（陶磁科学芸術科）や地元の産業にかかわる各社の協力を得て展示することができました。

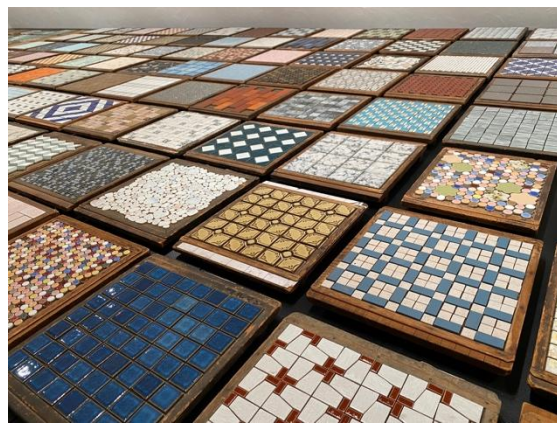
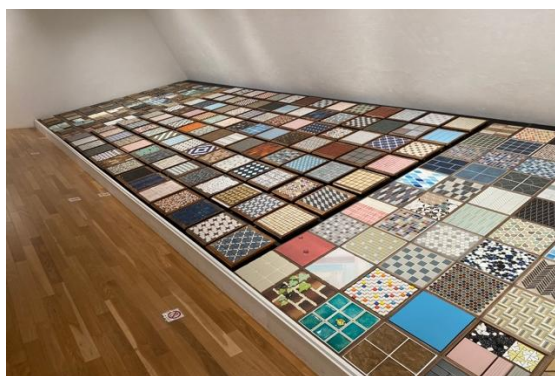
●展覧会名 「収蔵庫大公開 ―モザイクタイルの過去・現在・未来―」

【会期】2024年2月3日～5月26日（来年度）／102日間

【来場者数】24,706人

【内容】横約10m、縦約3mの斜面台に明治から現代までのタイル約350点を展示し、迫力ある演出を行いました。展示台は3つのエリアに分かれており（①明治から昭和までの戦前のタイル、②戦後昭和から平成までの貼板に入れたモザイクタイル、③現代タイル）、①②は収蔵品から展示し、③は現代企業から借用展示しました。

「収蔵庫大公開」展示風景



【関連企画】

①ギャラリートーク「今こそ語ろうモザイクタイルー現代タイルの担い手たちは何を考えているのかー」

日時／3月30日、4月6日、13日、20日、27日、5月4日、11日、18日、25日

場所／3階ギャラリー 参加者／約180人

内容／出展企業10社のうち、9社の社長に話を伺うギャラリートークを開催。

②推しタイルを投票しよう

日時／3月12日以降の平日 場所／3F ギャラリー、2F 事務所前

参加者／1,255人

内容／出展資料の中から来館者が好みのタイルを用紙に記入し、2階の投票箱に投票することでタイルを1ピース持ち帰ることができる参加型企画。

【記録集】

「収蔵庫大公開ーモザイクタイルの過去・現在・未来ー」リーフレット

1,000部作成

【評価と成果】

「収蔵庫大公開ーモザイクタイルの過去・現在・未来ー」では、当館が長い時間をかけて収集してきた収蔵品を300点以上公開する貴重な機会になると同時に、協賛企業にも展示に参加してもらい、現代のタイルを展示する初めての試みとなりました。また、タイルの連続性を意識した展示により、来館者の反応は非常に良好で、タイルの美しさが間近で迫力を持って体感できることに強い反応を示す方が多くみられました。

関連企画のギャラリートーク、タイルプレゼントも盛況のうちに終了しました。過去の資料を調査するだけでなく、現役で活躍しているタイル関係者の声を拾い、アーカイブすることの重要性を認識する機会となりました。タイルプレゼントは、展示に関するアンケートと合わせての実施だったが、観覧者が楽しむ様子を間近で見ることができたと同時に、観覧者が展示に「参加」する企画にもなりました。

2024(令和6)年度 [2024年4月～2025年3月]

●展覧会名 「収蔵庫大公開 ―モザイクタイルの過去・現在・未来―」

【会期】2024年2月3日（前年度から）～5月26日／102日間

※内容等は2023年度に掲載

●展覧会名 「永見夏子とモザイク展」

【会期】2024年6月1日～9月1日／79日間

前期／6/1(土)～6/30(日) 「ラスカルと幸せのかげら」

後期／7/2(火)～9/1(日) 「モザイクアーティストとの共鳴」

【来場者数】23,376人

【内容】日本アニメーション所属のイラストレーター、永見夏子が制作したイラストやタイルを使用した作品を展示しました。前期では、永見が日本アニメーションで描いている「あらいぐまラスカル」のイラストと、その絵柄を使用したタイル作品を展開。後期では、永見のオリジナル作品と、国内のモザイク作家が設立したグループ「モザイク会議」の作家作品を展示しました。

「永見夏子とモザイク展」前期展示風景



「永見夏子とモザイク展」後期展示風景



【関連企画】

①永見夏子サイン会

日時／6月1日（土） 1回目：10:00～10:30、2回目：14:00～14:30

場所／多治見市モザイクタイルミュージアム 3F 展示室

内容／ショップで本展示関連商品をお買い上げの方を対象にサイン会を実施。



②タイルでラスカルの住む世界をつくろう！

日時／7月13日（土）、7月14日（日）

1回目：10:00～11:00、2回目：14:00～15:00 【計4回】

場所／モザイクタイルミュージアム2階

参加者数／7月13日…午前5人、午後8人 7月14日…午前8人、午後7人

内容／木枠内に本展示キービジュアル転写タイル、モザイクタイルを組み合わせて作品を制作。



【評価と成果】

「永見夏子とモザイク展」では、永見氏の制作テーマの一つである「Peace(平和)」と「Piece(タイルの一片)」を繋げ、「幸せのかげら」をテーマに前期と後期に分けて展示しました。

全体を通して、作家自身初の試みとしてイラストとタイルを融合させた作品展開を行うことで、タイルの新たな魅力を発信する場となりました。特に前期はアニメーション「あらいぐまラスカル」を知る世代を中心に注目を集め、今後も様々なジャンルとタイルとのコラボレーション企画の可能性を考えさせられるものとなりました。

●展覧会名 「青の誘惑ータイルにみる青の世界ー」

【会期】2024年9月14日～（～2025年5月18日）／2025年3月31日までで163日間

【来場者】42,985人（年度内）

【内容】当地域では第二次世界大戦後、主にアメリカの戸建住宅に設置するプール向けに青色タイルを数多く輸出してきました。そのような歴史的経緯や現在の状況を踏まえ、四方約3mの立方体（ホワイトキューブ）に27社のメーカー・商社等の「青」のタイルパネルを張り込み、現代タイルの新たな魅力を提示しました。ホワイトキューブは美濃焼と関わりの深い茶室建築の意匠を参照し、青いタイルの空間に「誘われる」ような設えを試みました。

「青の誘惑」展示風景



【関連企画】※2025 年 4 月以降に実施

【記録集】

鑑賞ノート（A4 特殊サイズ、60 ページ、10,000 部）を作成。有料入館者（招待券、年パス保持者、各種手帳保持者含む）のうち、希望者に配布。

【評価と成果】

「青の誘惑ータイルにみる青の世界ー」では企画展「収蔵庫大公開ーモザイクタイルの過去・現在・未来ー」で行った「面としてのタイル」を発展させ、タイルに「包み込まれる」ような展示を試みました。展示造作には美濃焼と関わりの深い茶室の意匠を取り入れ、これまで「プールタイル」というジャンル呼称が生まれるほど生産されてきた「青」に焦点を当て、各協賛企業にタイルパネルの出展を依頼しました。結果的に総勢 27 社、約 250 枚のタイルが集まり、まさに現代美濃焼タイルの「青」に包まれる展示となりました。

観覧者の反応も良好で、改めて、迫力ある、そしてタイルの美しさを体験・体感できる展示の重要性を認識することとなりました。

展示期間中には、展示中のタイルの購入について問い合わせもあり、こうした協賛企業が絡んだ展示は、今後も定期的に開催することで、産業振興とも関連した企画になると考えます。

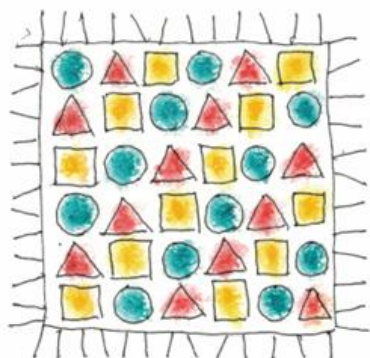
一般財団法人たじみ・笠原タイル館 プロジェクト会議 主催事業

●開館周年記念タイルプレゼント

当館にゆかりのある芸術家、デザイナーなどに周年記念タイルのデザインを依頼し、記念タイルを製作。
周年記念美の6月4日から来館者へ先着で1,000枚配布しました。

《2023(令和5)年度》

7周年は、伊藤慶二氏スケッチを100角タイルに転写。



《2024(令和6)年度》

8周年は、guse ars (グセアルス…村橋貴博と岩瀬敬美による2人組のアーティストユニット) に依頼。



●ナイトミュージアム

《2023(令和5)年度》

N i g h t M u s e u m + J a z z L i v e

【日時】10月14日(土) 18:30~19:30

【出演】脇田万貴子(ボーカル)、青木弦六(ギター)
野本謙之(ベース)、夏目純(ドラム)

【会場】モザイクタイルミュージアム4階展示室

【参加費】1,000円

【参加者】50名



《2024(令和6)年度》

ナイトミュージアム×ジャズコンサート

【日時】10月5日(土) 18:30~19:30

【出演】瀬瀬歩美(アルトサックス)、坂崎拓也(ベース)

【会場】モザイクタイルミュージアム4階展示室

【参加費】1,000円

【参加者】52名



●タイルパネルプレゼント

2階展示室で展示していたタイルパネルを希望者に抽選でプレゼントしました。

《2023(令和5)年度》

【応募期間】5月12日～6月30日

【応募総数】タイルパネル34点に対し1,091件

《2024(令和6)年度》

【応募期間】5月14日～6月30日

【応募総数】タイルパネル38点に対し1,411件

産業振興事業

●産業振興エリア デザイナーズ・ブース

2019年に4名のデザイナーによるタイルを活用したモデルルーム形状に改修したブースを「デザイナーズ・ブース」と位置付けました。現在、5カ年計画でブースを更新しています。

《2023(令和5)年度》

2023年度は、デザイナー神田健太郎氏により2ブースを更新しました。

【スタイリッシュバー】

コレクションしたお酒を眺めながら、しつぽりとお酒を楽しめるプライベートなバー。タイル・塗り壁・木をストライプ状に配置した、スタイリッシュな雰囲気が漂います。光の演出により男性的で落ち着いた大人の隠れ家のような空間としました。

タイルの形状をそのまま活かして作った立体的な造形に照明の光を組み込んで作り出した陰影により、タイルの素材感が際立ちます。

【テラスリゾート】



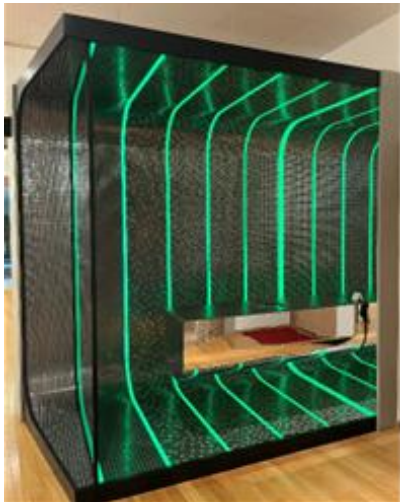
戸建てやマンションの限られたスペースであるベランダを、優雅なリゾート空間のイメージでデザインを考えました。

室内からベランダへ一歩生み出すと、ゆったりとした南の島にある、モダンリゾートのホテルライクなひと時が待っている。そんな場所としました。

《2024(令和6)年度》

2024年度は、乃村工芸社のデザイナー小関伸吾氏により2つのブースを更新しました。

【DJブース】



～Tile Time Tunnel～

タイルが無限に広がる、タイムトンネルのような異空間。

タイルとミラー、カラーチェンジする照明により、無限に反射するタイムトンネルのような異空間を創出しました。「モノ」と「コト」と「トキ」がループする疑似体験により、新しいタイル空間をデザインしました。

【瞑想ルーム】

～Tile Time Cave～

タイルに包まれる、洞穴のような瞑想空間。

素焼き風タイルで筒状に空間全体を包みました。素焼きのプリミティブなイメージによる厳粛な雰囲気演出。タイルと共に瞑想するブースデザインです。



●産業振興エリアでのタイル販売

コンシェルジュによるタイルの相談及び販売を行いました。

2023年度販売実績	タイル販売	1,396件	2,390,578円
	カタログ販売	10件	10,000円

2024年度販売実績	タイル販売	1,817件	2,927,809円
	カタログ販売	14件	14,000円

●モザイクタイルラボ・リレープロジェクト

今後タイル産業関係者と教育・研究機関が連携して、タイルの新たな魅力を探求する実験的な事業を5年間（2023年度から2028年度まで）のリレー形式で展開しています。モザイクタイルミュージアム2階の一角を会場に、建築・デザインにかかわる連携大学の学生たちの展示を行っています。

学生たちの若い感性から見たタイルの世界に触れて、自由な想像をはばたかせ、タイルの未来を語り合っていただく場になればと考えています。

《2023(令和5)年度》



【関連企画】「産学連携交流会」

- ・日時／5月18日 17:30～
- ・参加者／30名
- ・内容
各大学の学生、教授及びモザイクタイルミュージアム協賛企業関係者による交流会を行いました。

《2024(令和6)年度》

【関連企画】「Students' Night クロス・トーク」

- ・日時／4月16日 17:30～
- ・参加者／40名
- ・内容

2024年度は昨年に引き続き、名城大学谷田真氏の研究室、名古屋芸術大学西岡毅氏の授業受講生による展示を継続。昨年度の振り返りを含む、学生によるクロストークと業界関係者との交流会を設定しました。

また、愛知淑徳大学、杉山女学園大学の2校も順次リサーチ、展示発表を行う予定です。



他施設協力・連携事業

《2023(令和5)年度》

①体験教室への支援

学校関係や各種団体への対応として、モザイクタイル体験キットやタイルの提供、出張講座などを実施しました。(多治見市美濃焼タイル振興協議会との連携)

- ・瑞浪市総合文化センター 6月28日(水) ことぶき大学 40名
7月25日(火) 夏休み子供アート教室 20名
8月22日(火) 夏休み子供アート教室 20名
- ・グループふじとう夏まつり(高蔵寺の市民活動スペース)

7月16日(日) 学芸員による講義「タイルができるまで」とタイルワークショップの開催。

②建築・建材展でのPR(2024年度も同様)

2024年3月12日から15日まで東京ビッグサイトで開催された建築・建材展で、モザイクタイルミュージアムのPR及びタイル名称統一100年の動画を放映。

2024年度は、2025年3月4日から7日までモザイクタイルミュージアムのPR実施。

(多治見市美濃焼タイル振興協議会との連携)

③サイクリング&タイル工場見学ツアー

社団法人多治見市観光協会と連携し、同社が実施するサイクリングツアー事業のひとつとして、モザイクタイルミュージアムの見学と、近隣のタイル工場見学及び体験を行える少人数のツアーを実施。

《2024(令和6)年度》

①タイルの日実行委員会主催「タイルの日講演会」

日 時：4月12日 午後6時30分～

会 場：体験工房

講 師：伊藤大悟氏 参加者：40人

②サイクリング&タイル工場見学ツアー 2024 春（第5弾）、2024 秋（第6弾）

内 容：社団法人多治見市観光協会（たじみ DM0）と連携し、同社が実施するサイクリングツアー事業のひとつとして、モザイクタイルミュージアムの見学と、近隣のタイル工場見学及び体験を行える少人数のツアーを実施。

③多治見市観光ボランティア講座

期 日：4月16日

内 容：毎年開催する土曜講座にて4Fの説明にご協力いただいている観光ボランティアのメンバー向けに館内を解説。

④国際陶磁器フェスティバル美濃‘24との連携

期 間：10月18日(金)～11月17日(金)

共通チケットで連携。10月17日には、名誉総裁の秋篠宮家の佳子さまが来館されました。

⑤岐阜県婚活バスツアー（岐阜県主催）

期 日：1月12日（日）

参加者：男性9人、女性8人

内 容：15:00～16:00 ミュージアムで簡単な解説後、笠原交流センターにてフォトフレームづくり
～17:00 ミュージアムを見学（解説あり）

⑥岐阜県移住フェア（ワークショップ「モザイクタイルを使ったコースターづくり」）

日 時：1月25日（土）11:00～17:00

場 所：東京交通会館12階 ダイヤモンドホール

参加人数：51人（移住フェア来場数：274人）

収蔵資料

収蔵資料については、収集品選定評価委員会を設置し、主に寄贈、寄託の受け入れを行っています。

《資料収集の基本方針》

- (1) 笠原町が窯業、特にタイル生産の一大集積地であることから、モザイクタイルを中心とした建築用陶材等、地域産業の歴史・文化的要素を発信できる資料を収集すること。
- (2) 笠原町をはじめとする国内のタイル・窯業関連資料、またはタイル・窯業に関わりをもつ人物、事業者等、その功績や実績を象徴するような資料を収集すること。

2023 年度新規収蔵品

寄贈 計 15 件

整理番号	名称	個数	年代	分類番号	製造元(作者)
2023-0001	七羽の蝶々	1	2022年	7-04	蝶々:七窯社 玉石:オザワモザイクワークス
2023-0002	古窯 波紋	1	2022年	7-04	カネキ製陶所
2023-0003	花籠、桑の実	1	2022年	7-04	名古屋モザイク工業
2023-0004	タイル張りショーケース(小口部分)	1	第2次世界大戦前頃	1-06	白地に緑模様タイル:佐藤化粧煉瓦工場、その他不明
2023-0005	風景画 額装タイル	1	不明	1-06	不明
2023-0006	白タイル(広見湯)	4	1923年～1937年頃	1-06	日本タイル工業
2023-0007	白タイル(広見湯)	8	1916年～1928年頃	1-06	日本タイル工業
2023-0008	マジョリカタイル(広見湯)	8	1916年～1928年頃	1-19	不明(佐治製陶所か)
2023-0009	マジョリカタイル(広見湯)	8	1916年～1928年頃	1-02	不明(不二見焼合資会社か)
2023-0010	マジョリカタイル(広見湯)	8	1916年～1928年頃	1-02	不明(佐治製陶所か)
2023-0011	マジョリカタイル(広見湯)	8	1916年～1928年頃	1-02	不明(広正商店か)
2023-0012	マジョリカタイル(広見湯)	8	1916年～1928年頃	1-02	不明(広正商店か)
2023-0013	ミスズアート アルバム	24	1970年代～2010年代頃	6-02	ミスズアート
2023-0014	左官道具一式	32	不明	7-07	各社
2023-0015	warped puzzle	2	2017年	7-07	曽根研

2024 年度新規収蔵品

寄贈 32 件

整理番号	名称	個数	年代	分類番号	製造元(作者)
2024-0001	不等辺曲がり焼成用匣鉢	1	1967年以降	7-03	(株)神谷匣鉢製陶所
2024-0002	等辺曲がり焼成匣鉢	1	1967年以降	7-03	(株)神谷匣鉢製陶所
2024-0003	匣鉢	1	1967年以降	7-03	(株)神谷匣鉢製陶所
2024-0004	匣鉢(スジあり)	1	1967年以降	7-03	(株)神谷匣鉢製陶所
2024-0005	匣鉢(穴あり)	1	1967年以降	7-03	(株)神谷匣鉢製陶所
2024-0006	匣鉢(穴あり)	1	1967年以降	7-03	(株)神谷匣鉢製陶所
2024-0007	役物焼き台	1	1948年以降	7-03	(株)神谷匣鉢製陶所
2024-0008	役物焼き台	1	1948年以降	7-03	(株)神谷匣鉢製陶所
2024-0009	不等辺曲がり焼成用匣鉢	1	1948年以降	7-03	(株)神谷匣鉢製陶所

整理番号	名称	個数	年代	分類番号	製造元(作者)
2024-0010	等辺曲がり焼成匣鉢	2	1948年以降	7-03	(株)神谷匣鉢製陶所
2024-0011	匣鉢	2	1948年以降	7-03	(株)神谷匣鉢製陶所
2024-0012	匣鉢(スジあり)	1	1948年以降	7-03	(株)神谷匣鉢製陶所
2024-0014	ブラウン管チューブ焼成用匣鉢	3	1948年以降	7-03	(株)神谷匣鉢製陶所
2024-0015	ローラーハースキルン躯体支持用 ローラー棒貫通 穴あき煉瓦	6	1948年以降	7-03	(株)神谷匣鉢製陶所
2024-0016	リチウムイオン電池正極材 焼成用匣鉢	1	1948年以降	7-03	(株)神谷匣鉢製陶所
2024-0017	モザイクタイルアート(平安神宮)	1	1961年頃	6-03	
2024-0018	モザイクタイルアート(蛙)	1	1961年頃	6-03	
2024-0019	脱衣所洗い場壁面(マジョリカタイル)	1	1933年頃	6-03	
2024-0020	浴室洗い場壁面(七宝柄)	3	1945年～ 1963年頃	6-03	
2024-0021	モザイクタイルアート(富士山)	1	1945年以降	6-04	
2024-0022	モザイクタイルアート(駆けている武士)	1	1945年～ 1990年頃	6-04	昭洋アート社
2024-0023	モザイクタイルアート(馬)	1	1966年	6-04	
2024-0024	モザイクタイルアート(虎)	1	1974年	6-04	
2024-0025	モザイクタイルアート(見本)	1	1950年以降	1-19	
2024-0026	モザイクタイルアート(富士山)	1	1960年頃	6-04	
2024-0027	浴室タイル柱	1	1960年頃	6-03	
2024-0028	浴槽タイル	1	1960年頃	6-03	伊奈製陶株式会社
2024-0029	浴室床面タイル	1	1960年頃	6-03	
2024-0030	浴槽壁面タイル(ヘキサゴン)	1	1960年頃	6-03	
2024-0031	浴槽壁面タイル①	1	1960年頃	6-03	
2024-0032	浴槽壁面タイル②	1	1960年頃	6-03	
2024-0033	25mm角	1	1925年頃	6-03	

貸出業務

《2023(令和5)年度》

- 企画名：企画展「日本のタイル 100 年—美と用のあゆみ」
貸出先：江戸東京たてもの園
資料名：山内逸三「レリーフタイル」等 計 16 件
期 間：2023 年 2 月 1 日～9 月 8 日まで
- 企画名：特別展「交感する神と人—ヒンドゥー神像の世界」Special Exhibition “Divine Affection: Enchanting Images of Hindu Deities”
資料名：広正製陶「マジョリカタイル金型(孔雀)」等 計 5 件
貸出先：国立民族学博物館
期 間：2023 年 9 月 14 日～12 月 5 日まで

《2024(令和6)年度》

- 企画名：「陶器商の蔵」
貸出先：多治見市文化財保護センター
資料名：長谷川製陶所「広見湯壁面笠木タイル」等 計 8 件
期 間：2025 年 1 月 27 日～6 月 20 日(金)

収集品選定評価委員会 要綱

第1条 多治見市モザイクタイルミュージアム（以下「ミュージアム」という）における美術品及びタイル関連資料等収集品（以下「収集品」という）の購入、寄贈、寄託の受入れ（以下「収集」という）について、審査及び評価を行い、その適正を期することを目的として、ミュージアム収集品選定評価委員会をおく。

第2条 委員5人以内で組織する。

2 委員は、学識経験を有する者の内から館長が委嘱する。

3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。委員が欠けた場合においては、補欠委員の任期は前任者の残存期間とする。

第3条 収集品は別に定めるミュージアム美術品等収集方針によるものとする。

第4条 収集品選定評価委員会に委員長をおき、委員の互選によってこれを定める。

第5条 収集品選定評価委員会は、委員長が召集する。

2 収集品選定評価委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の時は委員長の決するところによる。

3 緊急を要する収集品の場合には、書類による審査を実施できるものとする。

収集品選定評価委員会

第4期 2022・2023（令和4、5）年度委員

瀬口哲夫（名古屋市立大学名誉教授）

武藤忠司（瀬戸蔵ミュージアム館長）

深井明比古（兵庫県立考古博物館学芸員）

施設利用状況

1. 年間月別来館者数一覧

《2023(令和5)年度》

2023(令和5)年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数		26	26	26	26	26	26	26	26	24	24	25	27	308
有料	一般	4,746	7,155	4,197	4,956	7,207	5,369	5,072	5,567	2,563	2,642	3,914	4,860	58,248
	団体	238	323	272	227	295	365	556	927	145	202	345	397	4,292
	年パス	1	3	4	1	1	4	2	2	2	2	0	2	24
	年パス 2回目以降	32	46	36	26	35	28	32	27	25	6	32	22	347
有料合計人数		5,017	7,527	4,509	5,210	7,538	5,766	5,662	6,523	2,735	2,852	4,291	5,281	62,911
無料	小学生	784	806	565	1,002	1,876	844	712	811	518	597	679	979	10,173
	中学生	80	99	25	73	233	64	63	61	43	42	48	102	933
	高校生	65	94	30	82	179	75	86	68	142	39	41	93	994
	一般招待	61	52	53	44	52	23	49	83	44	38	40	55	594
	2階まで	247	246	223	248	369	218	265	234	179	150	199	270	2,848
	障がい者 (付添含む)	154	223	178	185	310	152	199	191	110	118	135	147	2,102
無料合計人数		1,391	1,520	1,074	1,634	3,019	1,376	1,374	1,448	1,036	984	1,142	1,646	17,644
有料+無料合計人数		6,408	9,047	5,583	6,844	#####	7,142	7,036	7,971	3,771	3,836	5,433	6,927	80,555
1日平均人数		246	348	215	263	406	275	271	307	157	160	217	257	262
体験工房利用人数		1,511	1,635	1,384	1,813	2,629	1,622	1,629	1,687	1,062	1,065	1,411	2,010	19,458

《2024(令和6)年度》

2024(令和6)年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数		25	27	26	26	26	25	27	26	24	24	24	26	306
有料	一般	3,965	5,731	4,342	4,341	7,076	5,442	5,221	5,327	2,282	2,708	3,759	5,000	55,194
	団体	423	674	357	388	302	357	418	698	109	232	289	677	4,924
	年パス	4	0	2	4	1	5	1	1	1	2	1	0	22
	年パス 2回目以降	37	41	36	25	17	36	29	35	18	26	15	25	340
	国際陶磁器 フェス共通券						97	972	2,017	118	117	182	163	3,666
有料合計人数		4,429	6,446	4,737	4,758	7,396	5,937	6,641	8,078	2,528	3,085	4,246	5,865	64,146
無料	小学生	771	916	671	972	1,958	1,059	908	1,064	506	678	827	1,139	11,469
	中学生	81	76	66	131	246	67	63	88	29	40	72	132	1,091
	高校生	62	86	109	75	237	44	44	81	35	21	42	82	918
	一般招待	56	66	91	72	79	29	79	91	57	51	46	101	818
	2階まで	239	238	252	278	366	247	223	252	131	180	191	263	2,860
	障がい者 (付添含む)	139	212	226	157	264	247	241	316	161	126	140	237	2,466
無料合計人数		1,348	1,594	1,415	1,685	3,150	1,693	1,558	1,892	919	1,096	1,318	1,954	19,622
有料+無料合計人数		5,777	8,040	6,152	6,443	#####	7,630	8,199	9,970	3,447	4,181	5,564	7,819	83,768
1日平均人数		231.1	297.8	236.6	247.8	405.6	305.2	303.7	383.5	143.6	174.2	231.8	300.7	273.8
体験工房利用人数		1,331	1,539	1,462	1,765	2,707	1,624	2,326	2,468	1,117	1,403	1,878	2,888	22,508

2. 団体来館者数

《2023(令和5)年度》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	13	6	9	16	13	10	25	48	12	7	11	21	191
団体来場者数	202	65	104	222	243	235	638	1,143	332	189	243	441	4,057
内	見学	13	6	9	16	13	10	23	46	12	7	10	185
	体験	1	1	4	8	6	2	9	13	3	0	4	56
	解説	7	5	2	5	4	2	5	16	10	3	2	65

《2024(令和6)年度》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	9	22	22	24	15	12	27	47	12	7	8	18	223
団体来場者数	171	563	442	466	278	234	492	895	233	136	168	514	4,592
内	見学	9	22	21	21	15	11	27	47	12	7	8	217
	体験	2	2	6	7	9	7	5	15	3	4	1	70
	解説	5	18	10	9	2	3	10	17	5	2	4	89

3. その他の利用

①社会見学の対応、職場体験の受け入れ

市内をはじめ、県内外からの社会見学に対応しました。

近隣の中学校、高等学校から職場体験として2、3日間受け入れました。

②多治見市教育研究所主催の「土曜学習」に協力

期 日：2024年12月21日

③おのあつこのTryful（館内見学とフォトフレーム作り）

日 時：2025年3月9日（土）9:00～15:00

場 所：モザイクタイルミュージアム、笠原交流センター

参加者：76人

刊行物、印刷物

《2023(令和5)年度》

年報第4号



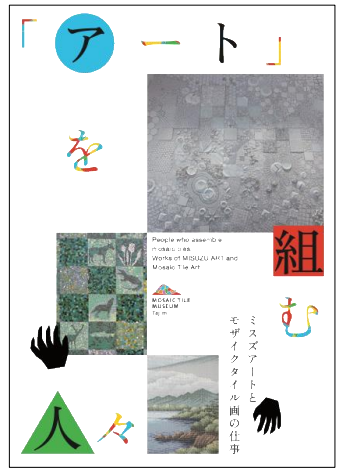
【記録集】小冊子
「タイルのまちをあるいてみた
studio record 展」



編集・発行／多治見市モザイクタイル
ミュージアム

写真・デザイン／株式会社山田写真製版所
発行／2023年6月

【記録集】小冊子
『「アート」を組む人々
ミスズアートとモザイクタイル画の仕事』

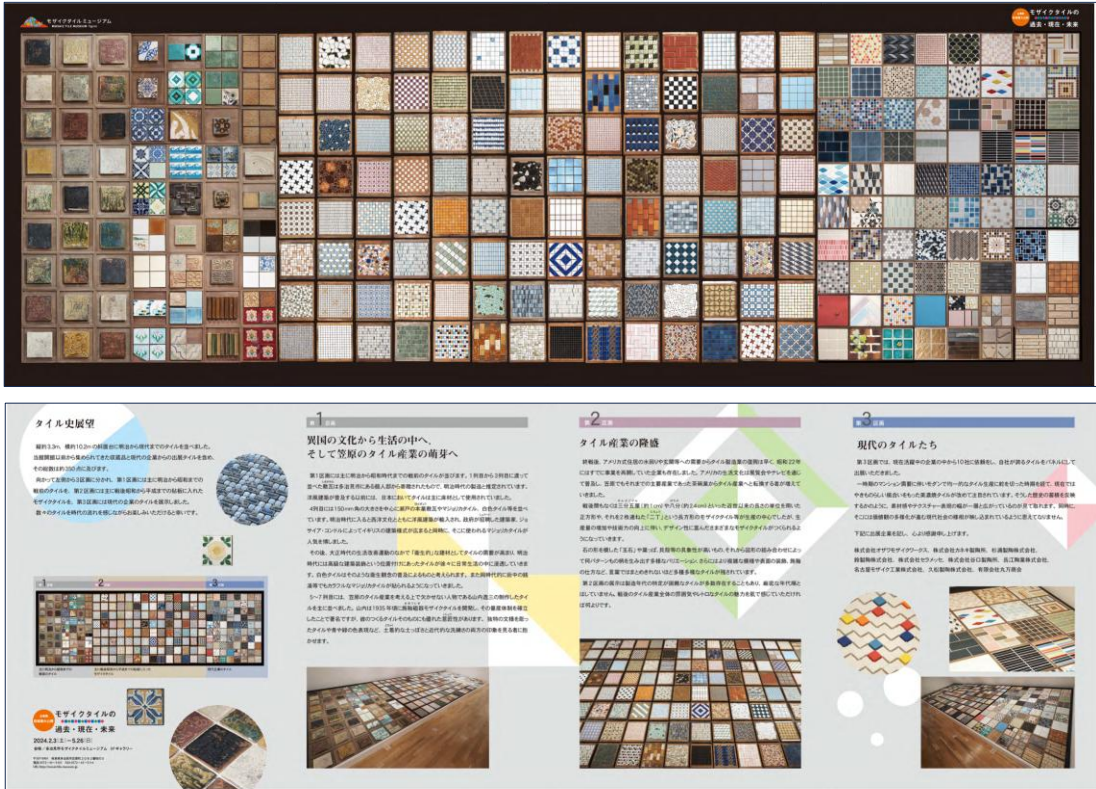


編集・発行／多治見市モザイクタイル
ミュージアム

デザイン／上田英司(シルシ)
発行／2023年8月

《2024(令和6)年度》

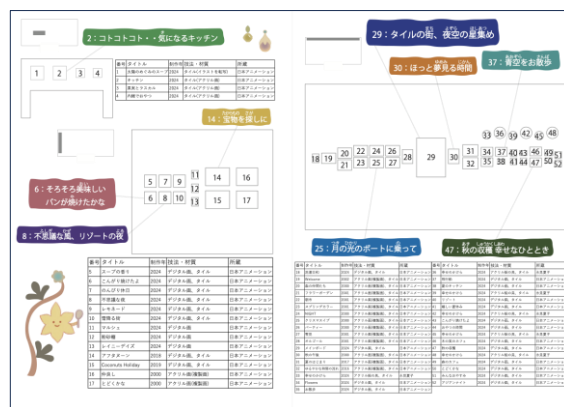
【記録集】リーフレット
「収蔵庫大公開-モザイクタイルの過去・現在・未来-」



規格／841mmx297mm ジャバラ折 A4 仕上がり
写真・デザイン／小寺克彦

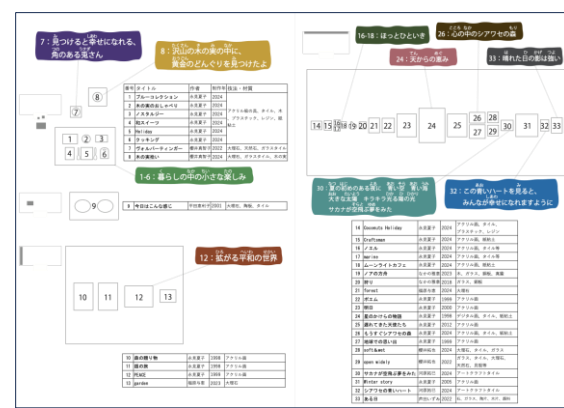
【配布物】リーフレット

『永見夏子とモザイク展「前期 ラスカルと幸せのかけら」作品リストと永見さんのことば』



【配布物】リーフレット

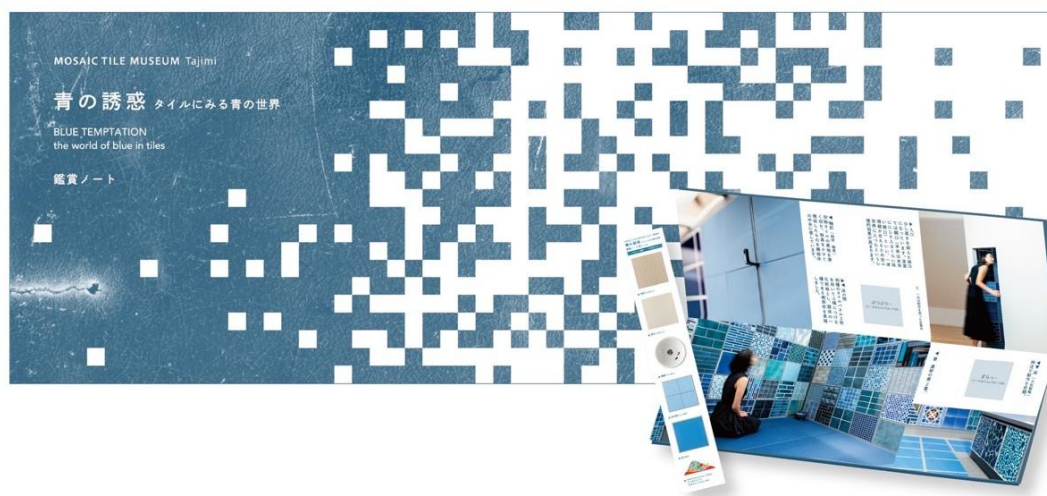
『永見夏子とモザイク展「後期 モザイクアーティストとの共鳴」作品リストと作者のことば』



編集・発行／多治見市モザイクタイルミュージアム
規格／2つ折 A5 仕上がり

【記録集】小冊子

「青の誘惑-タイルにみる青の世界- 鑑賞ノート」



編集・発行／多治見市モザイクタイルミュージアム
写真／ミヤシタデザイン事務所 加瀬秋彦、小寺克彦
デザイン／SHINJI YAMAMOTO A&D Studio 山本真路
発行／2025年3月 規格／A4 特殊サイズ、60ページ

主な広報活動

《2023(令和5)年度》

掲載年月日	誌名・サイト名	タイトル(内容)
2023年4月	かさはらカレンダー2023	
4月1日	岐阜県図書館発行 郷土作家マップ 「岐阜を歩く、文学を歩く。ぎふ散歩」	(ミュージアムの外観写真を掲載)
4月7日	じゃらんニュース	雨の日のお出かけに！室内で遊べるスポット22選。
4月7日	東濃新報 令和5年陶祖祭特集号	祝陶祖祭
4月10日	歴史ある美しい街並み	
4月13日	スエヒロガリ HACHISE WEB MAGAZINE	モザイクタイルの故郷を訪ねて【八清の自由研究 その21】
4月15日	じゃらんnet	ご当地特集
4月16日	高速SAチラシ「おでかけマップ2023 はれ旅物語 in 岐阜」	(有料広告)
4月16日	はれ旅物語in岐阜県	多治見市モザイクタイルミュージアム
4月16日	モザイク情報4月号(モザイク会議ニュースレター)	ストリートモザイク設置(P1)、企画展「アートを組む人々」(P7～9)
4月17日	リロクラブ 会報誌「F.U.N」中部版 4月号(2023 Vol.176)	
4月21日	東濃新報	今後の百年もタイルと共に 笠原で「感謝祭」
4月28日	東濃新報	ギャラリーマイタウン 実験的空間を演出 モザイクミュージアム会場が「タイルのまち」
4月30日	フコク生命 情報誌「FunFan」5月号	情緒あふれる昔の街並みとモダンデザインに出会う旅
5月5日	Facebook Dagasuグループ通信	四季の風景 モザイクタイルミュージアム
5月27日	マイタウンとうと	企画展「アートを組む人々」(P3)
5月下旬	MOOK「るるぶ 出川哲朗の充電させてもらえませんか？」	「哲朗&ゲストライダーのやばいよやばいよ旅」
6月	ズーラシアンプラス 会報誌「アモローソ」11号	
6月20日	JAぎふ女性部羽島東支部 集客チラシ	
7月	東海アートニュース6月、7月号	【企画展スケジュール欄】
7月上旬	るるぶ岐阜 飛騨高山 白川郷'24	タイルの新たな可能性を発信する多治見市モザイクタイルミュージアムで遊ぼう
7月上旬	Travel Brands Inc.(フェイスブック)	
7月上旬	学校法人 廣池学園HP	
7月25日	ハクスイテック株式会社HP	地元でおススメしたいスポット紹介
7月27日	毎日新聞(岐阜県版)	有料広告 企画展「アートを組む人々」
8月上旬	ぴあドライブ(インスタ)	
	産経新聞	
	クラブタカシマヤ／名古屋タカシマヤHP	
8月15日	中部電力「きずなネット」	
8月21日	東海ウォーカー2023秋	「アトリエの前で」総集編 第7回
8月23日	Cheek秋号「おでかけ東美濃」	おでかけ東美濃 中津川・恵那・多治見・土岐・可児・瑞浪
8月27日	中日新聞(東濃版)	多治見モザイクアート体験講座
8月28日	多治見北高図書だより「Libre」	第4回図書館講座「モザイクタイルについて学ぶ」

掲載年月日	誌名・サイト名	タイトル(内容)
8月下旬	びあ「緑と水辺のごちそうドライブ東海版」	
9月	みのEDO232号	タイル展めぐり
9月	Instagram、社内モニター	東海三県のおすすめスポットのご紹介
9月	マイティーライン	
9月	かさはら産業フェスタ2023の開催における広報活動	ポスター、タイルコースター、SNSなど
9月1日	東海じゃらん「秋のごほうび旅」	オトナの岐阜旅
9月4日	毎日新聞(岐阜県版)	広告欄
9月7日	MYTTLINE	企画展「工場賛歌 焼成編」
9月9日	岐阜新聞(東濃版)	「美濃焼タイル」質感の変化一目
9月9日	中日新聞(東濃版)	「タイル産業の工場に着目した企画展」
9月12日	A2web magazine	企画展「工場賛歌 焼成編」
9月15日	朝日新聞(岐阜県版)	多治見で企画展「工場賛歌」第4弾
9月18日	中日新聞(岐阜県版)	県境のぎふと
9月25日	おりべくらぶ10月号	イベントページ1枠(5,000円)
9月27日	アートニュース10-11月号(193号)	企画展スケジュール
10月	広報たじみ	美術・文化情報
10月	JR東海ソアーズInstagram	旅行のプロが教える日本各地の観光
10月1日	岐阜県コンクリート工業組合創立50周年記念誌	岐阜県を彩るコンクリート構造物
10月2日	ままここと10月号	郷土探求でもっと岐阜が好きになる！
10月4日	MYTTLINE	ナイトミュージアムJAZZ
10月5日	岐阜新聞(広域情報コーナー)	ナイトミュージアムJAZZ
10月7日	日本の旅辞典	500ページを超える旅辞典(朝日新聞出版)
10月9日	ズーラシアンサンプラスカレンダー2024年版	4月部分
10月11日	A2web magazine	ナイトミュージアムJAZZ
10月13日	東濃新報	ナイトミュージアムJAZZ
未定	国際ロータリー第2630地区会報の表紙	
10月30日	東海ウォーカー2023冬	企画展スケジュール
11月	みのEDO233号	企画展「工場賛歌 焼成編」
11月中旬	まっぷる岐阜	情報ページ
11月30日	中部大学幸友会会報「幸友」第26号	「ふらっと美術館めぐり」
2023年度	東海じゃらんネット	
12月	日本の不思議な建物101	
12月	2023年版「たじみ旅手帖」	AREA PICK UP
12月	観光パンフレット	美濃焼のせかい
12月	Art news 124号	企画展スケジュール
12月	たじみ周遊るべ	当館情報
2024年1月19日	名鉄グループLINE公式アカウントNEWS・おでかけ情報「旅ネタ！」	多治見市はモザイクタイル生産量日本一
2月1日	Cheek発行号	粘土山のようなミュージアム タイルの過去・未来・現在を体感！
2月7日	MYTTLINE	企画展 収蔵庫大公開-モザイクタイルの過去・現在・未来-

掲載年月日	誌名・サイト名	タイトル(内容)
2月9日	A2 Web Magazine	企画展 収蔵庫大公開ーモザイクタイルの過去・現在・未来ー
2024年	マイタウンとうと	企画展 収蔵庫大公開ーモザイクタイルの過去・現在・未来ー
2月26日	おりべクラブ 3月号	企画展 収蔵庫大公開ーモザイクタイルの過去・現在・未来ー
	中部毎日広告社	企画展 収蔵庫大公開ーモザイクタイルの過去・現在・未来ー
3月	名古屋アートニュース 4,5月号	企画展 収蔵庫大公開ーモザイクタイルの過去・現在・未来ー
3月1日	愛知の建設 3月号	
3月19日	令和5年度 東濃西部陶磁資料館連携ネットワーク会議 議事録	
3月23日	KELLY 5月号	今月のキニナル ART&EVENT 収蔵庫大公開ーモザイクタイルの過去・現在・未来ー歴史あるものから、今を表すモザイクタイルに注目
3月27日	みのEDO	多治見市モザイクタイルミュージアム企画展 収蔵庫大公開

放送年月日	局名	番組名	タイトル(内容)
2023年4月～ 約1年間	NHK BSプレミアム/BS4K	美の壺・プレマップ	4K放送告知プレマップ (「美術館編」で放送したミュージアムの映像が少し入る)
4月26日、5月9日	NHK岐阜	NHKまるっと！ぎふ・東海すこいぜ！	タイルシンの技術を未来へ
8月9日	MBS毎日放送	やすとも・淳のクイズレ	イチハンの思い出写真47都道府県を埋めろ
8月9日～ 2週間	MBS毎日放送Tver、MBS 動画イズム	やすとも・淳のクイズレ	イチハンの思い出写真48都道府県を埋めろ
8月9日～ 無期限	MBS動画イズム、FUNY チャンネル(吉本)	やすとも・淳のクイズレ	イチハンの思い出写真49都道府県を埋めろ
6月、10月 毎週木曜日9:30～	FMPiPi	たじみふるさとウォーカー	多治見タイムトラベル
12月20日19:00～	テレビ朝日	ぐりむクイズ ミラクル9	
2024年2月 毎週木曜日9:30～	FM PiPi	多治見タイムトラベル	企画展「収蔵庫大公開ーモザイクタイルの過去・現在・未来ー」

《2024(令和6)年度》

掲載年月日	誌名・サイト名	タイトル(内容)
2024年4月 上旬	いこーよとりっぷ	モザイクタイル発祥の岐阜県多治見 美濃焼とまちアートをめぐる旅へ
4月6日	毎日新聞 朝刊(ぐるっと東海)	
4月11日	雑誌るるぶ岐阜 飛騨高山白川郷	多治見市モザイクタイルミュージアムで遊ぼう！
4月12日	東鉄バスSNS	4月12日はタイルの日
4月22日	岐阜咲楽5月号の特集記事内 SAKURA Media Japan内	家族で楽しめる！体験・イベント
4月16日 ～5月15日	はれ旅物語in岐阜県	多治見市モザイクタイルミュージアム
6月	広報たじみ	企画展 「永見夏子とモザイク展」
6月	WEB記事じゃらんニュース	タイル生産日本一の町で、空間を彩る魅力を発見する
6月	月刊かみいな 6月号	館、体験工房について
6月11日	マイタウンとうと	「永見夏子とモザイク展」ーラスカルお幸せのかけら
6月25日	おりべくらぶ 7月号	「永見夏子とモザイク展」

掲載年月日	誌名・サイト名	タイトル(内容)
6月28日	オンラインミュージアムMU	ミュージアム紹介
6月30日	毎日新聞	「永見夏子とモザイク展」
7月	NEWS letter (報道関係者向け)	◆写真映え！おしゃれなミュージアム◆ 多治見市:モザイクタイルミュージアム
7月	WEB記事掲載[もっと知りたいニチアニ調査隊]	もっと知りたい！日アニ調査隊 Vol.12
7月	2024ナビタイムジャパン WEB記事	モザイクタイルの魅力を、 展示と体験で満喫
7月	観光パンフレット	多治見モザイクタイルミュージアム
7月	エンドレス・パトナー	【粘土山がモチーフの外観】 多治見市モザイクタイルミュージアム
7月20日	岐阜新聞	永見夏子とモザイク展・後期
7月25日	CHUBU-ROO! WEBサイト	タイルの楽しさに触れ、新たな可能性を生み出すミュージアム
7月9日	Casa ブルータスNo.292	藤森照信特集 多治見モザイクタイルミュージアム
2024年内	TOYOTA 公式 Instagram (@toyota_jp)	#人生で1度は行きたい 岐阜の絶景
2024年内	みんなのトヨタグラム 一生に一度シリーズ	
2024年内	トヨタ公式LINE	
2024年内	トヨタ公式 X	
2024年内	トヨタ各オウンドメディア、webサイト	
8月	foodiefoodiego (Instagram stories)	
8月8日	るるぶ&more	岐阜県の写真映えおでかけスポット5選！この夏行きたい限定イベントも 4.外観もおしゃれ！「モザイクタイルミュージアム」
8月17日	日本旅人塾 (Facebook)	【岐阜】
8月21日	トラベルYOU 2024秋号	バス旅行広告
8月25日	岐阜咲楽 9月号	アートを巡る秋 (モザミュ、ワンコイン工作)
8月26日	食尚玩家	撞臉蠟筆小新的「磁磚博物館」！
2024年内	ブログサイト SAKURAメディアジャパン	
9月号	名鉄Wind 9月号	モザイクタイル
9月号	Harper's BAZAAR 9月号	TAKE A DEEP BREATH 心に効く、アートな旅
9月1日	「岐阜っぽ。」秋号 Vol.51	カラフルで誘惑的なモザイクタイルの世界へ
9月上旬	A2 webマガジン	
9月14日	中日新聞	「青の世界」タイルで演出
9月14日	岐阜新聞	美濃焼 青タイル 室内空間を彩る
9月18日	食尚玩家	玩名古屋就看這篇！
9月20日	空旅Book	オススメ映えスポット
9月25日	月間らせる 10月号	3誌合同 読者プレゼント、青の誘惑
9月25日	Kanisancubかに版 10月号	3誌合同 読者プレゼント、青の誘惑
9月25日	おりべくらぶ 10月号	3誌合同 読者プレゼント、青の誘惑
9月27日	観光ウェブサイト Drive!NIPPON	岐阜・多治見～美濃ドライブ
9月28日	マイタウンとうと10月号	イベント情報
9月30日	UDN	跟魔女琪琪飛越日本名古屋 撞臉蠟筆小新的馬賽克磁磚博物館
10月	ギフ婚 BUSツアー'24 (HIS)	岐阜県庁の婚活事業 ツアーチラシ

掲載年月日	誌名・サイト名	タイトル(内容)
10, 11月	NAGOYA Art News	企画展「青の誘惑」
10, 11月	スキマスイッチのこのへんまでやってみよう	『うちの土地に来たら、このへんに行くといいよ』
10,11,12月	クラブツーリズム ホームページ	テーマのある旅 関西版(10月号、11月号、12月号)
10月1日	UDN (Instagram)	多治見市馬賽克磁磚博物館
10月1日	小信中島地域づくり協議会たより 10月号	来館、体験工房のレポート
10月1日	A2webサイト	10月5日ナイトミュージアム
10月9日	TOYOTA公式 Instagram	#人生で1度は行きたい 岐阜の絶景
10月10日	月刊Takt	ほっこり秋の癒し旅 独特の世界観に魅了されるモザイクタイルのアート
10月15日	じゃらんnet.	東海のご当地大特集
10月18日	岐阜新聞	佳子さま陶都に熱視線
10月18日	朝日新聞	佳子さまが視察 多治見を訪れる 笠原のミュージアム
10月18日	読売新聞	佳子さま 出展者と面会
10月18日	岐阜新聞	佳子さま 多治見訪問
10月18日	中日新聞	「タイルすてきですね」佳子さま、多治見のミュージアム見学
10月26日	マイタウンとうと11月号	タイルと茶室の調和 「青の誘惑—タイルにみる青の世界—」
10月27日	マイティーライン	企画展「青の誘惑—タイルにみる青の世界—」開催中
10月29日	岐阜県東濃県事務所Instagram	【青の誘惑】開催中！
11月	るるぶ特別編 ライフサポートガイドブック	モザイクタイルミュージアム タイルの魅力を発信
11月6日	日本政府観光局中東向け(アラビア語) Instagram,Facebook	外観、内観、ワークショップ、館の概要について
11月13日	朝日新聞(岐阜)	「手でみる」アート 広がる説明と触った感覚合わせイメージ
11月20日	Marie Claire	馬賽克磁磚博物館
11月26日	ナゴヤアートニュース12-1月号(200号)	青の誘惑—タイルにみる青の世界—
11月末	中部しんきんVISAカード情報誌 びつくりあつぷガイド12月号	東美濃特集 多治見市モザイクタイルミュージアム
12月4日	朝日マリオン・コム(岐阜新聞電子メディア)	コラム「美博ノート」
12月4日	朝日新聞名古屋本社朝刊知地域総合	「美術館・博物館」の一覧表 企画展の紹介
12月6日	岐阜新聞金曜日朝刊	コラム「美博ノート」
12月6日	岐阜新聞	「美術館・博物館」の一覧表 企画展の紹介
12月8日	令和6年拡大研修会資料集 岐阜県臨床検査技師会HP	表紙写真
12月11日	朝日マリオン・コム	コラム「美博ノート」
12月13日	岐阜新聞金曜日朝刊	コラム「美博ノート」
12月18日	朝日マリオン・コム	コラム「美博ノート」
12月20日	岐阜新聞金曜日朝刊	コラム「美博ノート」
12月10日	あいち健康プラザ Instagram	ワークショップ告知 モザイクタイルで作るコースターづくり
12月16日	みのEDO 東京24時間情報誌 MAIL版237号	企画展 青の誘惑～タイルにみる青の世界 3階全体が青いタイル尽くし！

掲載年月日	誌名・サイト名	タイトル(内容)
12月18日	株式会社宝島社 素敵なあの人WEB	【岐阜県・東美濃】旅ライターが行く！ 大人女子旅におすすめ！ 美濃焼と絶品グルメを楽しむ1泊2日ツアーをレポート(前編)
12月20日	ふふふぎふ	【東京】「ぎふ暮らし移住フェア」を開催します
12月27日	東海じゃらん 2025年2月号	本誌別冊付録 「岐阜LOVE」
12月末	X, Instagram @gifu_koi_kon	施設のご案内、体験工房について
12月～ 2025年1月	ぎふ暮らし移住フェア 東京で岐阜に出会う	モザイクタイルミュージアム、ワークショップ
12月7日	多治見のご当地ソング「My town My love」	「My town My love」 MV、配信ジャケット画像
2024年～ 2025年	陶説	美術館・博物館展覧会&特別行事案内
2025年1月	ギフト婚 BUSツアー'24 (HIS)	岐阜県庁の婚活事業 ツアーチラシ
1月～	モザイク会議	モザイク展2025 作品募集
1月1日	陶業時報(新春特集2025)	企画展「青の誘惑」紹介
1月1日	中日新聞 朝刊	新年ご挨拶企画(企画展PR中心)
1月1日	東濃新報 「新春特別号」	協賛広告
1月16日	News Letter 2025年1月号	＼多治見市モザイクタイルミュージアム／、企画展
1月25日	中部経済新聞	売り出せ！わが街の一押し モザイクタイルミュージアム来年10周年
1月29日	ナゴヤアートニュース2-3月号(201号)	青の誘惑—タイルにみる青の世界—
1月30日	株式会社小学館 和楽web	織田信長も愛した「美濃焼」の魅力とは？ ものづくりの精神を訪ねる岐阜の旅へ！
2月初旬	ギフト婚BUSツアー (HIS)	バスツアー当日に撮影した写真、動画
2月10日	ドラゴンズバック募集チラシ/WEBページ	4～6月来館予定 ツアーの募集
2月15日	朝日新聞(岐阜)	多治見市制施行85周年【全面広告】
2月24日	週刊じゃらんアプリ	東海じゃらん2025年2月号(12/27発売)内容の転載
2月25日	毎日新聞旅行 旅行募集パンフレット	旅行参加者の募集(4/1来館予定)
2月25日	募集 毎日新聞旅行ホームページ	旅行参加者の募集(4/1来館予定)
2月25日	おりべくらぶ3月号	今月のお出掛け情報(特別展示「青の誘惑」情報)
2月25日	じゃらんニュース	タイル生産日本一の町で、空間を彩る魅力
2月	3.14-3.20開催 Touch the Tile Tajimi 案内	チラシに外観画像使用、スタンプラリー協力
2025年	YouTube(タイ人インフルエンサー)	名古屋鉄道Co-machiプロジェクト
2月末～ 3月上旬	A2 webmagazine	
3月3日	るるぶ&more	岐阜県の観光スポットおすすめ24選！ 絶対外せない人気観光名所から穴場まで
3月4日	中日新聞	青の世界に魅せられ きょうから特別展 第2期
3月4日	岐阜新聞	青の共鳴 増す深み
3月9日	また旅2	多治見とタイル
3月20日	アイドルグループ「image」	
3月22日	出版社 流行発信「Cheek」	ドライブ特集 [岐阜①東美濃ドライブ]
3月25日	まっぷるドライブ 東海・北陸・信州ベスト	ココもおすすめ 多治見市モザイクタイルミュージアム
3月27日	名古屋アートニュース202号(4, 5月号)	企画展 青の誘惑・旅するタイル
2025年3月 上旬～中旬	多治見市観光パンフレット 「たび旅たじみ」	タイルさんぽ 笠原周辺

掲載年月日	誌名・サイト名	タイトル(内容)
3月27日	お得にめぐるスタンプラリー 美濃セラミックミュージアムガイド	
3月28日	みのEDO	特別展示「青の誘惑 -タイルにみる青の世界-」 第2期スタート!、2階・産業振興フロアに新ブースが登場!
3月31日	跡見学園女子大学 観光コミュニティ研究第4号	日本各地の銭湯にみるレマン湖畔のスイス・アルプスに着想されたモザイク・風景画
2025年	TOTOグループ社内報	近隣のおすすめスポット紹介
2024年内	岐阜の旅ガイド	岐阜県観光用プロモーション映像
2024年内	企業版ふるさと納税チラシ	
2025年	YouTubeチャンネルたまがわタイルスクール	
2025年	YouTube	台湾向けPR動画
2025年	YouTube	インバウンド向け動画

放送年月日	局名	番組名	タイトル(内容)
2024年6月、10月、 2025年2月	FM PiPi	多治見ふるさとウォーカー	多治見タイムトラベル
6月25日 18:15～19:00	愛媛朝日テレビ	スーパーJチャンネルえひめ 特集企画「えひめ謎解き歩き」	
7月19日	石川テレビ	石川さん情報Live リフレッシュ	金曜企画 「ふれ旅」多治見市の旅
8月16日	メーテレ	夕方のニュース情報番組「ドデスカ!+(プラス)」	「～地元自慢ランキング～マチ10多治見市」
9月22日	メーテレ	ドデスカ メーロメロ セレクション	8月16日の再放送
9月13日	NHK岐阜放送局	まるっと!ぎふ	
10月18日	中京テレビ	キャッチ!	国際陶磁器フェスティバル美濃'24
11月24日 5:45～6:00	フジテレビ	皇室ご一家	国際陶磁器フェスティバル美濃'24
映像	海外の方に向けた地元PR 動画作成		多治見北高校
2025年2月6日	NHK	あさイチ「愛でたいNippon」	
2月13日	FM PiPi	多治見ふるさとウォーカー	青の誘惑
2月20日	FM PiPi	多治見ふるさとウォーカー	青の誘惑
2月27日	FM PiPi	多治見ふるさとウォーカー	青の誘惑

資料：組織

多治見市モザイクタイルミュージアム組織構成（2025 年 3 月末現在）

一般財団法人たじみ・笠原タイル館（多治見市モザイクタイルミュージアム指定管理者）

代表理事 虎澤範宜

理事 8 名

監事 2 名

評議員 3 名

顧問 1 名

プロジェクト会議委員 8 名

事務局体制

館長 1 名

事務局長 1 名

総務管理グループ 嘱託職員 1 名、臨時職員（アルバイト）2 名

展示事業グループ 嘱託職員（学芸員）2 名、資料整理員（アルバイト）2 名

サービス交流グループ 嘱託職員 3 名、臨時職員（アルバイト）

コンシェルジュスタッフ 1 名

資料：建築概要

設計・デザイン／藤森照信

建築・監理／藤森、エイ・ケイ、エース設計共同体

構造／織本構造設計 設備／a&A 設備設計 電気／井上電機設計室

建築施工／吉川・加藤・櫻井特定建設工事共同企業体

設備施工／五十嵐・大和特定建設工事共同企業体

電気／小境・林特定建設工事共同体

- ・敷地面積／3,558.85 m² ・建築面積／793.95 m² ・延床面積／1925.02 m²
- ・建築物高さ／19.416m ・建物用途／博物館 ・構造規模／鉄筋コンクリート造（地上4階）
- ・付帯施設／タイル広場（約3,000 m²）文化スポーツ課所管
- ・展示面積／2 階（産業振興エリア）…170.80 m²
 - 3 階 展示室 2…180.31 m² ギャラリー…66.42 m²
 - 4 階 展示室 1…228.25 m²
 - 展示面積合計…645.78 m²
 - 1 階：工房…94.09 m² ショップ…48.65 m² 館内収蔵庫…41.79 m²

資料：条例・施行規則

多治見市モザイクタイルミュージアムの設置及び管理に関する条例

平成 26 年 9 月 29 日条例第 27 号

改正 令和 元年 6 月 28 日条例第 12 号

(設置)

第 1 条 タイルの歴史及び文化に関する資料を収集し、保存するとともに、これを広く一般に公開し、タイルの魅力を周知することにより、市民文化の向上及び産業振興に資するため、多治見市モザイクタイルミュージアム（以下「ミュージアム」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 ミュージアムの名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名称 多治見市モザイクタイルミュージアム
- (2) 位置 多治見市笠原町字古御所 2082 番地の 5

(事業)

第 3 条 ミュージアムは、次に掲げる事業を行う。

- (1) タイルの歴史及び文化に関する資料の収集及び保存並びに展示
- (2) タイルの歴史及び文化に関する調査研究及び普及啓発
- (3) タイル産業の振興に資する情報収集及び情報発信
- (4) その他第 1 条に規定する設置目的の達成に必要な事業

(指定管理者による管理)

第 4 条 ミュージアムの管理は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 3 項の規定により、法人その他の団体であつて市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第 5 条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第 3 条各号に掲げる事業の実施に関すること。
- (2) ミュージアムの観覧及び利用の許可に関すること。
- (3) ミュージアムの管理に関すること。
- (4) 観覧料（第 7 条第 1 項に定める観覧料をいう。）及び利用料金の収受に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認めること。

(開館時間等)

第 6 条 ミュージアムの開館時間及び休館日は、規則で定める。

(観覧料)

第 7 条 ミュージアムの展示を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の範囲内において指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定める額（以下「観覧料」という。）を納入しなければならない。

2 観覧料は、その都度納入しなければならない。ただし、指定管理者が特に必要と認めたときは、この限りではない。

(観覧料の収入)

第 8 条 地方自治法第 244 条の 2 第 8 項の規定により、市長は、観覧料を指定管理者の収入として収受させるものとする。

(資料の貸出し)

第9条 指定管理者は、別に市長の定めるところにより資料の貸出しを許可することができる。

2 前項の規定により貸出しの許可を受けた者は、許可を受けた目的以外に資料を使用し、又はその使用の権利を他人に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

（撮影等の許可）

第10条 指定管理者は、別に市長の定めるところにより、資料の撮影、模写、模造、図書（ホームページ、配布目的のための光ディスクその他の電子媒体等を含む。）への掲載及び閲覧（以下「資料の撮影等」という。）を許可することができる。

2 前条第2項の規定は、前項の規定による資料の撮影等の許可を受けた者について準用する。

（研修工作室及びギャラリースペースの利用申請及び許可）

第11条 ミュージアムの研修工作室及びギャラリースペース（以下「研修工作室等」という。）を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者に申請し、その許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可に、研修工作室等の管理上必要な条件を付すことができる。

3 第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）がその許可に係る事項を変更しようとするときも、前2項と同様とする。

（目的外使用）

第12条 市長は、研修工作室等をその目的又は用途を妨げない限度において、目的外に使用させることができる。

2 前条から第21条まで（この条、第14条後段及び第17条を除く。）の規定及び別表第2の規定は、前項の規定により研修工作室等を目的外に使用させる場合について準用する。この場合において、前条第1項中「利用」とあるのは「使用」と、「指定管理者」とあるのは「市長」と、同条第2項中「指定管理者」とあるのは「市長」と、同条第3項中「利用者」とあるのは「使用者」と、次条中「指定管理者」とあるのは「市長」と、「利用」とあるのは「使用」と、第14条中「利用者」とあるのは「使用者」と、第15条第1項中「指定管理者」とあるのは「市長」と、「利用者」とあるのは「使用者」と、「利用の」とあるのは「使用の」と、同条第2項中「利用者」とあるのは「使用者」と、「市及び指定管理者」とあるのは「市」と、第16条第1項中「利用者」とあるのは「使用者」と、「額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定める利用料金」とあるのは「使用料」と、同条第2項中「利用者」とあるのは「使用者」と、「利用の」とあるのは「使用の」と、「利用料金」とあるのは「使用料」と、「指定管理者」とあるのは「市長」と、第18条中「観覧料及び利用料金」とあるのは「使用料」と、「あらかじめ市長と協議の上、指定管理者」とあるのは「市長」と、第19条中「指定管理者は、市長が別に定めるところにより」とあるのは「市長は、公益上その他特別の事由があると認めるときは」と、「観覧料及び利用料金」とあるのは「使用料」と、第20条中「利用者」とあるのは「使用者」と、「利用を」とあるのは「使用を」と、「利用の」とあるのは「使用の」と、第21条中「利用者」とあるのは「使用者」と、別表第2中「利用料金」とあるのは「使用料」と、「利用時間」とあるのは「使用時間」と読み替えるものとする。

（利用の制限）

第13条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、資料の貸出し、資料の撮影等及び研修工作室等の利用を許可しない。

- （1） 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- （2） 施設、器具等又は資料を毀損又は滅失するおそれがあるとき。
- （3） その他ミュージアムの管理上支障があると認められるとき。

（権利譲渡等の禁止）

第14条 第9条第2項の規定は、利用者について準用する。この場合において、同項中「使用」とあるのは、「利用」と読み替えるものとする。

(利用の許可の取消し等)

第 15 条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、その利用の許可を取り消し、又は利用の停止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) この条例に基づく許可の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正な行為により利用の許可を受けたことが明らかになったとき。

2 前項の規定の適用によって利用者が受けた損害については、市及び指定管理者は、その責めを負わないものとする。

(研修工作室等の利用料金)

第 16 条 利用者は、別表第 2 に定める額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定める利用料金を納入しなければならない。

2 利用者は、利用の許可を受けたときに利用料金を納入しなければならない。ただし、指定管理者がやむを得ない事由があると認めたときは、この限りではない。

(利用料金の収入)

第 17 条 第 8 条の規定は、前条第 1 項の利用料金について準用する。

(観覧料等の還付)

第 18 条 既納の観覧料及び利用料金は還付しない。ただし、あらかじめ市長と協議の上、指定管理者が特に必要と認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

(観覧料等の減免)

第 19 条 指定管理者は、市長が別に定めるところにより、観覧料及び利用料金を減免することができる。

(原状回復の義務)

第 20 条 利用者は、研修工作室等の利用を終えたときは、直ちに原状に回復しなければならない。第 15 条第 1 項の規定により許可を取り消され、又は利用の停止を命ぜられたときも同様とする。

(遵守義務)

第 21 条 ミュージアムに入館する者及び利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 施設、器具等又は資料を毀損しないこと。
- (2) 他人に危害又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 許可無く写真撮影等をしないこと。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、市長及び指定管理者が指示する事項

(損害賠償の義務)

第 22 条 施設、器具等を毀損し、又は滅失したときは、損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めた場合は、この限りではない。

(入館の制限)

第 23 条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、ミュージアムへの入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (2) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められる者
- (3) その他ミュージアムの管理上支障があると認められる者

(委任)

第 24 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

多治見市モザイクタイルミュージアムの設置及び管理に関する条例施行規則

平成 27 年 2 月 4 日規則第 2 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、多治見市モザイクタイルミュージアムの設置及び管理に関する条例（平成 26 年条例第 27 号。以下「条例」という。）第 24 条の規定に基づき、多治見市モザイクタイルミュージアム（以下「ミュージアム」という。）の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 ミュージアムの開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、入館は、午後 4 時 30 分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要と認めるときは、あらかじめ市長の承諾を得て、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第 3 条 ミュージアムの休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）第 3 条に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後最初の休日でない日）

(2) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日

2 前項の規定にかかわらず指定管理者は、必要と認めるときは、あらかじめ市長の承諾を得て、ミュージアムを臨時に開館し、又は休館することができる。

(資料の貸出しの申請及び許可)

第 4 条 条例第 9 条第 1 項に規定する資料の貸出しの許可を受けようとする者は、あらかじめ資料貸出許可申請書（別記様式第 1 号）により指定管理者に申請しなければならない。

2 資料の貸出しを受けることができる者は、次に掲げる者とする。

(1) 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条第 1 項に規定する博物館、同法第 29 条の規定により文部科学大臣又は都道府県教育委員会の指定した博物館に相当する施設及び博物館に類似する施設（以下「博物館等」という。）の長

(2) 社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）第 21 条に規定する公民館の長

(3) 図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）第 2 条第 1 項に規定する図書館の長

(4) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 1 条に規定する学校（以下「学校」という。）の長

(5) その他指定管理者が前各号に準ずる者として適当と認めるもの

3 第 1 項の申請を受けた指定管理者は、その内容を審査し、当該申請による資料の貸出しが、ミュージアムの事業に支障を及ぼさないと認めるときは、資料の貸出しを許可し、資料貸出許可書（別記様式第 2 号）を申請者に交付するものとする。

4 前項の許可を受けた者は、資料の貸出しを受けるときは、資料借用書（別記様式第 3 号）を指定管理者に提出しなければならない。

5 資料の貸出し期間は、60 日以内とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、60 日より長い期間とすることができる。

(資料の撮影等の申請及び許可)

第 5 条 条例第 10 条第 1 項に規定する資料の撮影等の許可を受けようとする者は、あらかじめ資料の撮影等許可申請書（別記様式第 4 号）により指定管理者に申請しなければならない。

2 前項の申請を受けた指定管理者は、その内容を審査し、これを許可したときは、資料の撮影等許可書（別記様式第 5 号）を交付するものとする。

3 前項の許可を受けた者で、資料をミュージアム外に搬出して資料の撮影等を行うものは、資料借用

書を指定管理者に提出しなければならない。

(指示事項の遵守等)

第6条 前2条の規定により許可を受けた者は、資料の貸出し及び資料の撮影等につき指定管理者の指示に従わなければならない。

2 指定管理者は、前2条の規定により許可を受けた者が前項の指示に従わないとき、又は資料等の管理上、支障があると認めるときは、当該許可を取り消すことができる。

(許可の制限)

第7条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、資料の貸出し及び資料の撮影等の許可をしないものとする。

(1) 資料の貸出し又は資料の撮影等を行うことにより、当該資料の保存に悪影響が生じると認められるとき、又はそのおそれがあるとき。

(2) 資料が寄託資料(第10条第2項の規定により受託を決定した資料をいう。以下同じ。)又は借用資料のとき(寄託者又は貸与者の承諾書を持参する場合を除く。)

(3) 前2号に掲げる場合のほか指定管理者において支障があると認められるとき。

(研修工作室及びギャラリースペースの利用申請及び許可)

第8条 条例第11条の規定に基づきミュージアムの研修工作室及びギャラリースペース(以下「研修工作室等」という。)を利用しようとする者は、あらかじめ研修工作室等利用申請書(別記様式第6号)により指定管理者に申請しなければならない。

2 前項の申請を受けた指定管理者は、その内容を審査し、利用を許可するときは、研修工作室等利用許可書(別記様式第7号)を交付するものとする。

(観覧料等の減免)

第9条 指定管理者は、条例第19条の規定により、次に掲げる者が観覧する場合、その観覧料の全額を免除する。

(1) 次に掲げる者が団体で観覧する場合における引率者

ア 博物館等が実施する事業の参加者

イ 学校に在籍する幼児、児童、生徒又は学生

ウ 児童福祉法(昭和22年法律第164号)の規定に基づき設置された児童福祉施設の入所者又は通所者

(2) 引率業務を行うため事前に観覧する博物館等、学校又は児童福祉施設の職員

(3) 博物館等又は学校の職員でタイル及び陶磁器の調査又は研究のために観覧するもの

(4) 団体旅行等における添乗員、ガイド等

(5) 観光関係、交通機関等の職員で調査の目的のため観覧するもの

(6) 次のいずれかに該当する者

ア 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定による身体障害者手帳の交付を受けている者

イ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者

ウ 都道府県又は地方自治法(昭和22年法律第67号)第252条の19第1項に規定する指定都市から療育手帳の交付を受けている者

エ ア、イ又はウに掲げる者の介護者(1人に限る。)

2 前項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料減免申請書(別記様式第8号)により、指定管理者に申請しなければならない。ただし、同項第6号に該当する者については、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳の提示(これらを保有していることを確認できるもの

として市長が適当と認める方法を含む。以下同じ。)によって、申請に代えるものとする。

3 前項の申請を受けた指定管理者は、その内容を審査し、これを許可したときは、観覧料減免決定書（別記様式第9号）を交付するものとする。ただし、第1項第6号に該当する者については、前項ただし書の規定により提示された手帳の確認をもって、交付に代えるものとする。

4 指定管理者は、条例第19条の規定により、次に掲げる者が研修工作室等を利用する場合、その利用料金の全額を免除する。

- (1) 本市
- (2) 国若しくは他の地方公共団体、博物館等又は学校
- (3) その他指定管理者が特に必要と認める者

一部改正〔令和5年規則6号〕

(資料の寄託)

第10条 ミュージアムに資料を寄託しようとする者は、資料寄託申出書（別記様式第10号）を指定管理者に提出するものとする。

2 指定管理者は、資料寄託申出書を受理したときは、その内容を審査し、受託を決定したときは、寄託資料預り証（別記様式第11号）を交付する。

3 寄託資料は、原則として寄託期間の終了前には返却しないものとする。

4 資料の寄託期間の終了時に、双方の合意により引き続き年度を単位として寄託期間を更新することができるものとする。

5 寄託資料は、特別の定めのある場合のほか、市所有の資料と同じ取扱いとする。

6 寄託資料の管理に係る経費のうち、修復等特別な維持に係る経費は、寄託者の負担とする。

7 寄託資料が災害その他の不可抗力によって滅失し、又は損傷した場合、市及び指定管理者は、損害賠償の責を負わないものとする。

8 相続等により寄託資料の所有者が変わったときは、新たに資料寄託申出書を提出することとする。

(喫煙の禁止)

第11条 ミュージアムにおいては、喫煙してはならない。

(委任)

第12条 この規則に定めるものの他必要な事項は、別に定める。

利用案内／アクセス

開館時間／午前9時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）

休館日／月曜日（休日の場合は翌平日） 年末年始（12月29日～1月3日）

観覧料

■個人 500円（特別展示料金込み）

・高校生以下は無料（学生証の提示等が必要）

・療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者手帳をお持ちの方、及び、その付き添いの方1名は無料。

■団体（20名以上） 400円

※3、4階展示室入場には観覧料が必要です。

※1階、2階のみをご利用の方も必ず受付にお申し出ください。

※金額は2025年3月からの新料金です。

■年間パスポート 1,020円

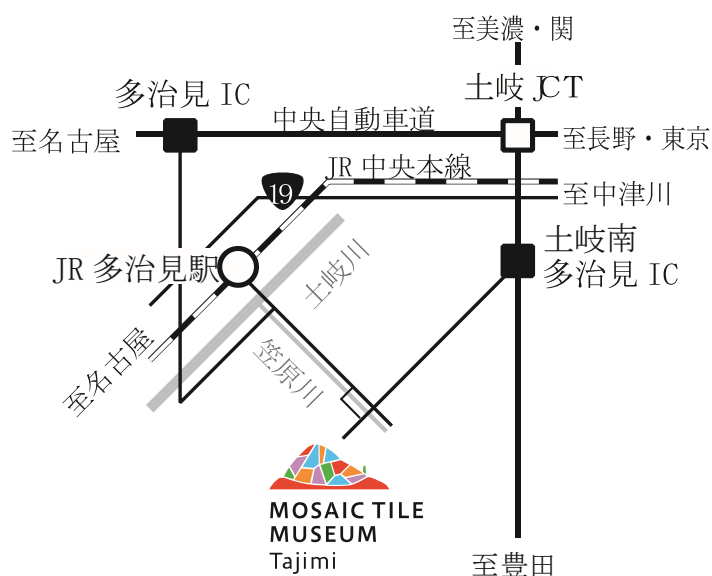
アクセス

■公共交通機関

多治見駅南口を出て、「多治見駅前」2番バスのりばから東鉄バス笠原線『東草口行き』または『羽根行き』に乗車、「モザイクタイルミュージアム」下車。（駅からの所要時間／約17分）

■自動車

多治見ICから約25分。土岐南多治見ICから約15分





4階展示室の「タイル・カーテン」

多治見市モザイクタイルミュージアム 年報 第5号

編集・発行 一般財団法人たじみ・笠原タイル館
2025(令和7)年10月
〒507-0901 岐阜県多治見市笠原町2082-5
多治見市モザイクタイルミュージアム内
電話 0572-43-5101
FAX 0572-43-5114
URL <https://www.mosaictile-museum.jp>